



東証一部上場

証券コード

[3198]

2019年2月期 決算説明会資料

SFPホールディングス株式会社



2019年4月17日

(1) 本日のご説明事項

2019年2月期 業績

P 4

売上高377.5億円（対前年同期比+2.5%）
経常利益32.2億円（同▲15.8%）、当期純利益19.5億円

- ・売上高は377.5億円で過去最高を更新 既存店前年比は97.0%
- ・期末直営店舗数は229店舗（新規出店15店舗、業態転換26店舗、撤退4店舗）
- ・2019年2月東京証券取引所市場第一部に市場変更

2020年2月期 予想

P11

売上高390億円（対前年同期比+3.3%）、経常利益27億円
当期純利益16億円を予想

- ・直営の新規出店は5店舗に抑制
- ・不採算店の積極的な撤退
- ・「SFPフードアライアンス構想」によるM&Aの展開

成長戦略 および 中期経営計画

P14

「SFPフードアライアンス構想」を基にM&Aでの成長を推進

- ・2020年2月期：JS社が新たに連結対象、地方都市のM&Aを積極的に検討
- ・2021年2月期：売上480億（成長率23.4%）経常利益33億円（6.9%）
- ・2022年2月期：売上590億（成長率22.9%）経常利益42億円（7.1%）

APPENDIX

P21

(2) 一部指定について

市場第一部銘柄に指定

2019年2月28日付けにて、東京証券取引所市場第二部から第一部へ市場変更



(3) 「株式会社ジョー・スマイル」について

2019年3月1日より100%子会社化（SFPフードアライアンス第一号（P14））



社名	株式会社ジョー・スマイル
設立	1993年2月 設立26年
本社所在地	熊本市中央区安政町3-16
代表	代表取締役社長 前川 浩幸
資本金	4,500万円
店舗数	19（2019年2月末時点）
従業員数	正社員 50名 PA 280名

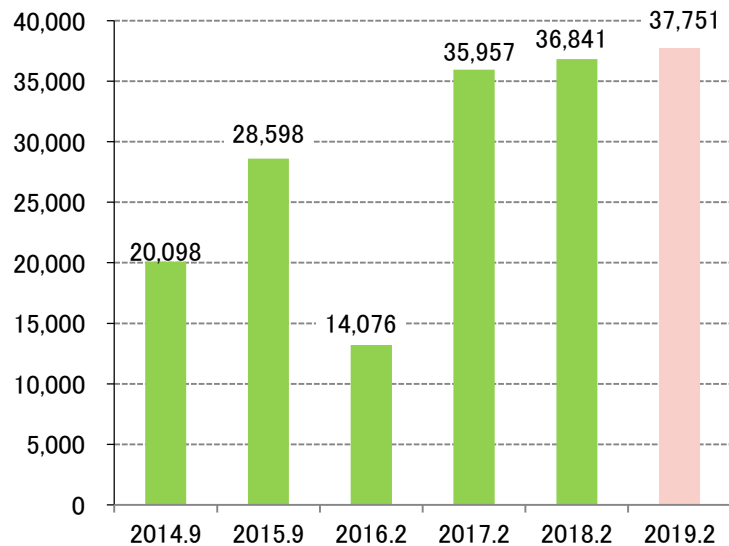


1. 2019年2月期業績

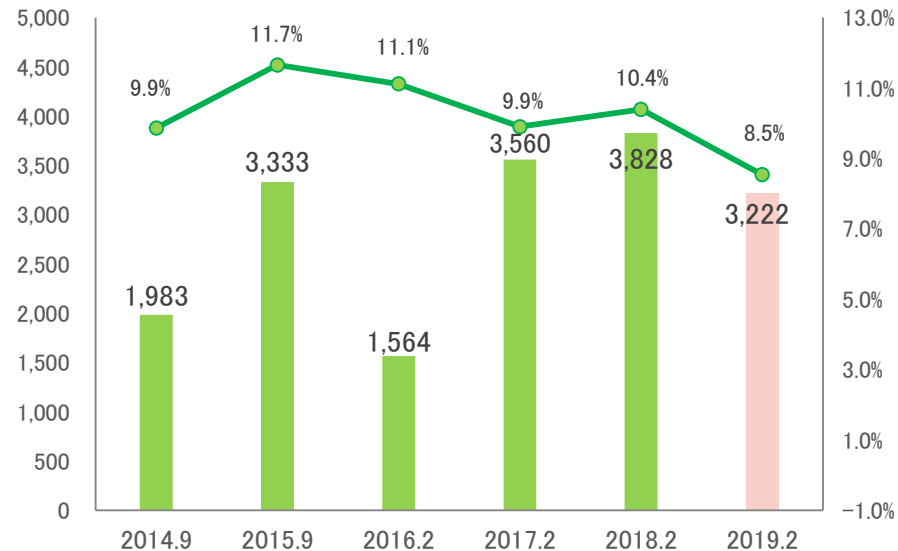
(4) 業績の概要

売上高 **37,751**百万円(前年同期比 + 2.5%)
 経常利益 **3,222**百万円(前年同期比 ▲15.8%)
 当期純利益 **1,955**百万円(前年同期比 ▲33.4%)

売上高



経常利益 (左軸) ・ 売上経常利益率 (右軸)



(5) 売上高の内訳

磯丸水産から24店舗を業態転換し売上構成比が変動、売上高は過去最高を更新

単位：百万円

	2018年2月期 実績		2019年2月期 実績			
					前年同期比	増減額
売上高	36,841	100.0%	37,751	100.0%	+2.5%	+909
鳥良	8,443	22.9 %	10,725	28.4 %	+27.0%	+2,281
磯丸水産	25,464	69.1 %	22,542	59.7 %	▲11.5%	▲2,921
その他	2,933	7.9 %	4,483	11.9 %	+52.8%	+1,550

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
既存店 前年比	95.9%	95.3%	94.6%	97.5%	91.8%	97.9%	96.2%	101.4%	98.1%	97.2%	97.9%	98.7%	97.0%

- 鳥良事業
 - ・業態転換により「鳥良商店」を21店舗出店、前年同期比+2.5%。既存店前年比は96.1%。
- 磯丸事業
 - ・6店舗を新規出店する一方、24店舗を業態転換、2店舗を閉店。
 - ・既存店前年比は97.6%。
- その他事業
 - ・餃子製造販売店「いち五郎」を2店舗新規出店、業態転換により5店舗出店
 - ・大衆酒場業態「五の五」を3店舗新規出店、「きづなすし」を1店舗新規出店
 - ・新業態の「浜焼きドラゴン」、「赤坂ひつじ8番」をトライアル出店。
 - ・既存店前年比は95.5%。

(6) 損益計算書の概要

単位：百万円／下段は構成比

	2018年 2月期	2019年2月期				
		修正予想	実績	修正予想比	増減額	概要（数値は修正予想比較）
売上高	36,841 (100.0%)	37,500 (100.0%)	37,751 (100.0%)	+0.7%	+251	1月の商況が当初想定よりも良く、 主に磯丸水産の既存店が堅調に推移し、 +251百万円で着地
売上総利益	26,339 (71.5%)	26,841 (71.6%)	27,001 (71.5%)	+0.6%	+163	
販管費	22,810 (61.9%)	23,988 (64.0%)	24,094 (63.8%)	+0.4%	+105	売上の達成に伴い、 売上構成比+0.2%改善
営業利益	3,529 (9.6%)	2,850 (7.6%)	2,907 (7.7%)	+2.0%	+57	
経常利益	3,828 (10.4%)	3,150 (8.4%)	3,222 (8.5%)	+2.3%	+72	売上の達成に伴い、+72百万円、 売上構成比+0.1%で着地
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,934 (8.0%)	1,900 (5.1%)	1,955 (5.2%)	+2.9%	+55	

(7) 貸借対照表の概要

単位：百万円／下段は構成比

		2018年2月期末	2019年2月期末	
			前期末増減額	主な増減要因
資産	流動資産	12,339 (47.2%)	9,567 (42.4%)	▲2,772 現金及び預金+209 関係会社短期貸付金▲3,000
	固定資産	13,816 (52.8%)	13,018 (57.6%)	▲797 有形固定資産▲529 のれん▲273
資産合計		26,156 (100.0%)	22,585 (100.0%)	▲3,570
負債	流動負債	4,167 (15.9%)	6,031 (26.7%)	+1,863 短期借入金+1,000 その他+973 買掛金+51 賞与引当金+46 株主優待引当金+11 未払法人税等▲264 資産除去債務▲14 1年内返済の長期借入金▲41
	固定負債	1,059 (4.1%)	988 (4.4%)	▲71 退職給付に係る負債+25 資産除去債務+13 長期借入金▲10 リース債務▲9 その他▲90
負債合計		5,227 (20.0%)	7,019 (31.1%)	+1,791
純資産合計		20,928 (80.0%)	15,566 (68.9%)	▲5,361 利益剰余金+1,244 自己株式+1,083 資本剰余金▲7,681 (自己株式の取得および消却)
負債・純資産合計		26,156 (100.0%)	22,585 (100.0%)	▲3,570

(8) キャッシュフロー計算書の概要

単位：百万円

	2018年2月期	2019年2月期	増減額
営業キャッシュ・フロー	4,476	4,590	+114
税金等調整前当期純利益	4,455	3,003	▲1,451
その他	▲426	1,138	+1,564
投資キャッシュ・フロー	1,246	2,053	+807
貸付金の回収による収入	3,000	3,000	0
有形固定資産の取得による支出	▲1,273	▲695	+577
敷金及び保証金の差入による支出	▲303	▲160	+142
その他	▲169	▲119	+49
財務キャッシュ・フロー	▲2,437	▲6,434	▲3,997
配当金の支払額	▲764	▲710	+54
短期借入れによる収入	-	1,000	+1,000
自己株式の取得による支出	▲1,507	▲6,597	▲5,090
現金及び現金同等物の期首残高	4,709	7,994	+3,285
現金及び現金同等物の期末残高	7,994	8,204	+209

(9) 店舗展開の状況

	(事業別)				(地域別)			
	鳥良	磯丸水産	その他	合計	東京 23区内	東京 23区外	首都圏 (東京以外)	関西/中部 九州圏
2018年2月末	54	141 (7)	23	218 (7)	101	28	72	17 (7)
出店 (a)	0	+6 (+3)	+9	+15 (+3)	+6	0	+4	+5 (+3)
業態転換 による出店	+21	0	+5	+26	+9	+4	+12	+1
閉店 (業態転換に よるもの含む)	0	-26 [-24]	-4 [-2]	-30 [-26]	-11 [-9]	-6 [-4]	-12 [-12]	-1 [-1]
2019年2月末	75	121 (10)	33	229 (10)	105	26	76	22 (10)
2018年2月期 通期出店計画 (b)	+6	+6	8	+20	業態転換（26店舗）による店舗への負担 及び人員不足を鑑み、通期出店は15店舗 に抑制（通期出店計画は20店舗）			
(a)/(b)	-	100%	112%	75%				

※ [] 内は業態転換による閉店数で内数になります。

※ () 内はFC店舗数で外数になります。

2. 2020年2月期業績見通し

(10)-(1) 2020年2月期業績予想

2020年2月期は一旦減益になる予想（2019年2月21日のリリースにて開示）

単位：百万円／下段は構成比

	2019年2月期	2020年2月期（予想）		
		第2四半期	通期	前年 同月比
売上高	37,751 (100.0%)	19,580 (100.0%)	39,000 (100.0%)	+3.3%
売上総利益	27,001 (71.5%)	13,978 (71.4%)	27,833 (71.5%)	+3.1%
販売費及び 一般管理費	24,094 (63.8%)	12,798 (65.4%)	25,433 (65.2%)	+5.6%
営業利益	2,907 (7.7%)	1,179 (6.0%)	2,400 (6.2%)	▲17.4%
経常利益	3,222 (8.5%)	1,364 (7.0%)	2,700 (6.9%)	▲16.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,955 (5.2%)	793 (4.1%)	1,600 (4.1%)	▲18.2%

(10)-(2) 2020年2月期の柱となる3つの取り組み

1 出店戦略の変更

- ✓人員確保の厳しさを踏まえ、一時的に出店を7店舗（子会社のJS社を含む）に抑制
- ✓新規採用の人員を人員不足の既存店に配置
- ✓回復基調にある既存店の運営体制を更に強化

2 不採算店舗の撤退

- ✓不採算店舗の撤退を積極的に進め、収益基盤を強化（8店舗程度）
- ✓撤退店舗の人員を既存店舗へ配属して生産性向上を図る
- ✓特別損失の見込額は、300百万円

⇒ 1 2 の“守り”の取り組みにより筋肉質な経営体制に

3 「SFPフードアライアンス構想」によるM&Aの展開

- ✓株式会社ジョー・スマイルが新たな連結対象に
- ✓2社目以降の提携先を随時検討

⇒ 3 の“攻め”の取り組みにより更なる成長を目指す

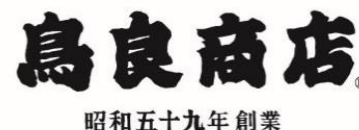
- 地方都市において豊富な経営ノウハウを有する居酒屋を運営する企業と資本提携
- 当社の主カブランド（磯丸水産等）を提供することで成長を支援

提携先の既存業態

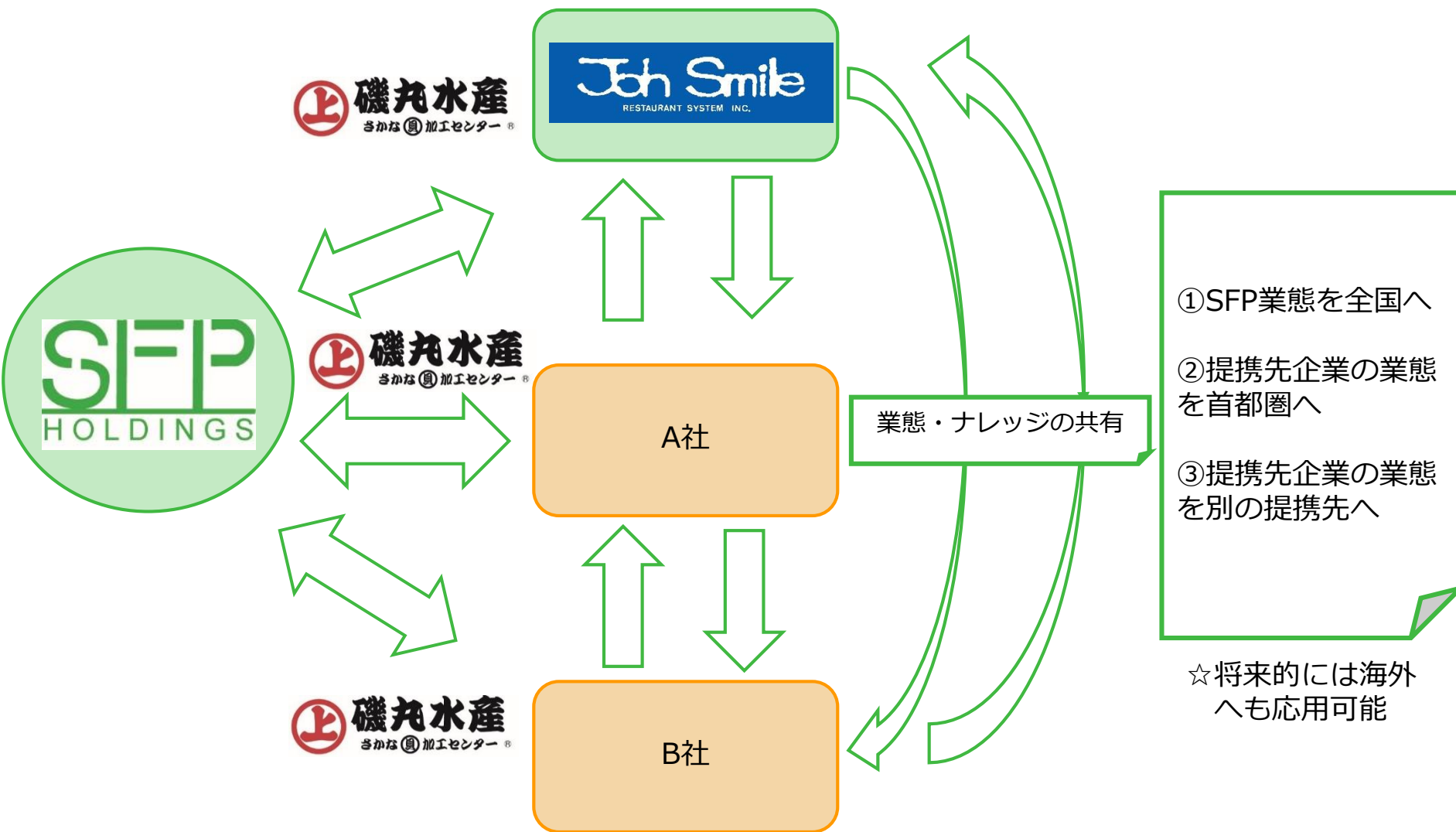
※当社のノウハウを提供する事で
バリューアップが可能



(提携先の第二の成長エンジン)



(11)-(2) 「SFPフードアライアンス構想」の将来像



(11)-(3) 「SFPフードアライアンス構想」の現状

●今後、SFPとJS社の主力業態を首都圏と熊本だけでなく、全国各地で展開する事が可能に

磯丸水産 鳥良商店
 各かな(員)加工センター® 昭和五十九年創業

餃子 いち五郎
 製造販売所

とりよし
 O-MO-TE-NA-SHI

手羽先唐揚専門店
鳥良

きづなすし
 KIZUNA SUSHI

大衆酒場
五の五

大衆酒場
ホームベース

鉄板焼とワインのふた
鉄板ニ百こ

CASA DEL GUANO
 SPAIN BARATAYAS

味噌系炊き込み
玉可本店

生 玉川

赤坂 ジンギスカン
HITSUJI 8 BAN
 ひつじばん

貝焼き・鉛食器
浜焼ドラゴン

肥後の海蔵
前川水軍

前川珈琲店
 ORIGINAL ROASTED COFFEE

食然亭 屏
 Healthy Kitchen HIRAKI

かざり家
 DINING AND BAR

居酒屋
ひやくしよう茶屋

焼肉・焼鳥
平蔵

居酒屋
麦うさぎ

桜肉・焼鳥
桜咲く
 sakura-saku

焼肉 肥後の山蔵
前川焼肉

焼肉 しゃぶしゃぶ ステーキ
炎の前川

居酒屋
こいび家

伊達祭

元大相
一番星

山賊 前川

(11)-(4)「SFPフードアライアンス構想」の展開イメージ

今後アライアンスが期待される地方都市の一例

札幌

新潟

金沢

長野

前橋

宇都宮

静岡

浜松

京都

岡山

広島

高松

松山

鹿児島

沖縄

※上記都市以外も柔軟に検討



展開中地域

首都圏（直営）

関西圏（直営）

名古屋（FC）

福岡（FC）

仙台（直営）

熊本（M&A）

提携先各地を拠点に、日本全国の魅力ある居酒屋を展開

(12)-(1) 中期経営計画における成長イメージ

- ✓「SFPフードアライアンス構想」を基にM&Aでの成長を展開
- ✓アライアンス時点の売上は10億円～を想定
- ✓提携先は、磯丸水産を出店することで成長を加速、売上倍増を目指す



SFPと提携先が共に成長し、3年後に連結で売上高590億円 経常利益42億円

(12)-(2) 中期経営計画 (数値目標)

✓ 直営の新規出店によるオーガニックな成長は継続、「SFPフードアライアンス構想」を基にアライアンスに加入した企業の連結貢献により、3年後に売上高590億円、経常利益42億円（7.1%）

	2019年2月期 (実績)		2020年2月期 (予想)		2021年2月期 (計画)		2022年2月期 (計画)	
売上高	37,751	100.0%	39,000	100.0%	48,000	100.0%	59,000	100.0%
成長率	+2.5%		+3.3%		+23.4%		+22.9%	
経常利益	3,222	8.5%	2,700	6.9%	3,300	6.9%	4,200	7.1%
当期純利益	1,955	5.2%	1,600	4.1%	1,950	4.1%	2,500	4.2%
店舗数	229		243		360程度		470程度	



配当

■ 安定継続的な配当の実施

	1株当たり	配当性向
2015年9月期末 (12ヶ月)	20.0円	26.7%
2016年2月期末 (5ヶ月)	9.0円	28.4%
2017年2月期末 (12ヶ月)	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	36.6%
2018年2月期末 (12ヶ月)	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	25.9%
2019年2月期末 (12ヶ月)	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	34.3%
2020年2月期末 (12ヶ月) 予想	中間：13.0円 期末：13.0円 合計：26.0円	42.0%

株主優待制度について

- SFPホールディングス株式会社の各店舗でご利用いただける「お食事券」を年2回、贈呈
- 毎年**2月末日**及び**8月31日**現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を100株以上保有の株主様が対象



保有株式数	株主優待券 (1回当たり)
100株～499株	4,000円
500株～999株	10,000円
1,000株以上	20,000円

3. APPENDIX

(14) 会社概要

本社	東京都世田谷区玉川二丁目21番1号	ニ子玉川ライズ・オフィス
事業内容	飲食店の経営	
代表者	代表取締役社長 佐藤 誠	
設立	平成22年11月（創業：昭和59年）	
資本金	534百万円	
発行済株式数	25,729,689株	
店舗数	229店舗（FC10店舗含まず）	
経営理念	時流を先見した「こだわり」の限りなき追求	

（2019年2月末現在）

(15)沿革

1984年		創業	「鳥良」を東京・吉祥寺に開業
2001年	BSEの流行	「豊かな食を創造する総合フードサービス業をめざす」をビジョンとし、業態の多角化へ	
2003年	SARS 鳥インフルエンザ		
2008年	リーマン・ショック 世界同時不況	「日本を豊かにする『食』の専門店集団をめざす」とビジョンを改める→「専門店」化の追求	
2009年			「磯丸水産」を東京・吉祥寺に開業
2010年		ポラリス第二号投資事業有限責任組合が株主となり、ハンズオンのもとで、経営手法をブラッシュアップ	
2012年			「きづなすし」を東京・新宿に開業
2013年		株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングスと資本提携し、経営ノウハウを昇華	
2014年		東証2部に上場	
2015年		FC事業を開始	「鳥良商店」川越店を新規出店
2016年		事業持株会社体制へ移行	
2017年		商号をSFPホールディングス株式会社に変更	「トラ五郎」を東京・新宿に開業
2019年		<ul style="list-style-type: none"> ・東証1部に市場変更 ・「SFPフードアライアンス構想」をスタートし、第1号として株式会社ジョー・スマイル社が加入 	

(16) - (1) 事業概要



水槽から引き揚げたばかりの活貝や、一番人気の「蟹味噌甲羅焼き」を目の前で焼きながら、海辺の磯料理屋の楽しさを、駅前立地で気軽にお楽しみいただける業態です。



手羽先唐揚専門店



1984年の創業から変わらない看板料理「手羽先唐揚」や、製法特許取得の豆腐、名古屋名物「どて焼き」などの名物料理を、ジャズの流れる落ち着いた雰囲気の内でお楽しみいただける業態です。



鳥良商店

昭和五十九年創業

明るく活気溢れる店内で、看板料理「手羽先唐揚」はもちろんのこと、「鶏くわ焼き」、「鶏そば」など、鶏料理屋ならではの商品を、駅前立地で気軽にお楽しみいただける業態です。



— O-MO-TE-NA-SHI —

鳥良が大切にしてきた「おもてなし」の形をさらに磨き上げ、手作りの料理、和装で心をこめたサービス、和モダンの粋な店内、すべてにおいて新たな価値の創造を目指した業態です。



餃子 製造販売店 **トラ五郎**

バラエティーに富んだ各種の餃子をはじめ、日常的に楽しめる一品料理を、駅前立地で気軽にお楽しみいただける業態です。「いち五郎食堂」では餃子に加えて食事メニューも豊富に取り揃えております。

餃子 製造販売店 **いち五郎**

餃子 製造販売店 **いち五郎食堂**



大衆酒場 **ホームベース**



大衆酒場 **五の五**



どこか懐かしい昭和レトロ感の漂う店内で、名物の煮込み料理などを気軽にお楽しみいただける当社初の立ち飲み業態です。



毎日立ち寄りたくなる、サラリーマンに明日の活力をお届けする大衆酒場業態です。明るく気軽な雰囲気のお店づくりで、ひと手間かけた定番メニューの数々をお楽しみいただけます。

(16) - (3) 事業概要

きづなすし
KIZUNA SUSHI

お好きなネタを一貫からはもちろん、「寿司食べ放題」もお楽しみいただける業態です。また、一品料理、ドリンクも豊富に取り揃えております。



はま玉川

「挽きたて・打ちたて・茹でたて」にこだわった蕎麦をお手頃価格でお召し上がりいただける業態です。丼物やお酒に合う一品料理もご用意しております。



鉄板焼とワインのお店
鉄板ニも℃

本格鉄板料理店の高級感と下町のお好み焼き屋の気軽さをあわせ持つ業態です。200℃の大鉄板で豪快に焼き上げる新鮮な魚介類や厳選のお肉、野菜をワインと共に楽しみいただけます。



ビストロ SOMARU

店内中央に配置されたカウンター内のキッチンで豪快に進む調理を眺めながら、カジュアルかつオシャレな空間で、おいしい洋食を気軽に楽しんでいただける業態です。



(16) - (4) 事業概要



厳選の鰹節や昆布などでとった一番出汁と本場のレシピを忠実に再現したブレンド味噌に、試行錯誤のうえ開発したうどん麺の絶妙なバランスをお楽しみいただける名古屋名物「味噌煮込みうどん」の業態です。



CASA DEL GUAPO
~ SPAIN BAR & TAPAS ~

スペイン現地にあるBAR（バル）スタイルを忠実に再現したカジュアルな雰囲気の内店で、こだわりの料理と厳選のお酒をお楽しみいただける業態です。



貝焼き・お食事

浜焼ドラゴン

活きの良い帆立やサザエを自分で焼ける“浜焼き”と熱々の鉄皿料理を中心に、一品料理を取り揃えた業態です。食事処としても居酒屋としてもご利用いただけます。



赤坂  ジンギスカン

HITSUJI 8 BAN

ひつじ8番

落ち着いた雰囲気の店内で、希少価値の高い国産の羊もお楽しみいただける、素材にこだわったジンギスカン料理の業態です。



- ◆ 本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ◆ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

S F Pホールディングス株式会社

経営企画部

TEL : 03-5491-5869

ホームページ : <http://www.sfpdining.jp/>